

はじめに
確認すること

子どもの
症状

大人
の症状

高齢者
の症状

救急車の
呼び方

電話相談
病院内

休日夜間
急患診療

事故防止
(子ども
・高齢者)

応急手当

ためらわずに救急車を呼んでほしい症状 こども（15歳以下）

こんな症状がみられたら、**ためらわずに119番に通報**してください！
重大な病気やけがの可能性が**あります**。

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

手・足

- 手足が硬直している

意識の障害

- 意識がない（返事がない）
又はおかしい（もうろうとしている）

生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい



じんましん

- 虫に刺されて、全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった



けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた



◎ その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

総務省消防庁発行「救急車利用リーフレット」から引用